

『子どもが輝くいい言葉いい話し方』

(多湖 輝、波乗社、2009.12.)

子どもを輝かせてくれるのは、お母さんやお父さんの言葉。それもほんの短い一言だと、著者は語っています。言葉は、いつでもどこでも何度でもかけてあげることができます。本書には。子どもが喜ぶ「言葉のプレゼント」がたくさん紹介されています。

◆「宝物になるね」

- ・子どもが感動的な体験をしたときには、その思い出を丸ごと「宝物」にしてあげましょう。

◆「耳をすましてごらん」

- ・この言葉は静かな心を教える言葉です。あわただしい毎日を過ごしている子どもに、ひとときの静寂をプレゼントする言葉です。

◆「見てごらん」

- ・私たちを感動させてくれるすべてのものはすべて、それに目を留めた人だけに幸運をプレゼントしてくれます。

◆「不思議だねえ」

- ・正しく分かりやすく説明するのが無理なとき、面倒くさがったりごまかしたりしないで「そういえばそう。不思議だねえ」とありのままの気持ちを言葉にすればいいのです。

◆「きれいなものが見つかる嬉しいね」

- ・いくつになってもきれいなものや可愛らしいものには心を惹かれるのです。その気持ちを素直に育てていきたいものです。バカにしたり、取るに足らないことと無視しないで、喜んであげたい。